

授業科目	人間発達学 1	2 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	高橋義信 (教育研究棟 I C809 号) e-mail : yoshi@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員			
概要	人間発達がいかなるものか、それにどのような要因が影響するのかという事を通して、発達する生命体としての人間に対する理解を深める。またライフステージの各時期では、どのような形態機能的、認知的、社会情動的特徴があるのかを理解し、各時期にどのような発達上の問題が生じるのかを学ぶ。		
到達目標	1. 人間の発達の特徴を説明できる。 2. 人間の発達に影響を及ぼす主な要因を説明できる。		
関連科目	心理学、教育学、人間発達学 2		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考
	レポート	90%	
	提出物	10%	
教科書	指定なし		
参考書	①若井邦夫他 [2006 年] 「グラフィック乳幼児心理学」 サイエンス社		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	胎生期の栄養状態がその後の発達に及ぼす影響。エピジェネティックスを理解する。	事後学習：配布資料を復習する。	講義	高橋
2	新生児の視覚、聴覚とそれがどのように発達していくか	〃	〃	〃
3	新生児期・乳児期の母子関係とそれが後の発達にどの程度影響を及ぼすか	〃	〃	〃
4	言語発達と臨界期の存在	〃	〃	〃
5	性同一性の形成とそれに影響する要因	〃	〃	〃
6	身長伸びとそれに影響を与える要因	〃	〃	〃
7	第二次性徴に影響を及ぼす要因と性淘汰	〃	〃	〃
8	青年期の自己同一性と職業選択	〃	〃	〃